

市川市議会議員

第 39 号 2016/3/18

石原よしのり通信



まち・ひと・しごと創生総合戦略

日本の将来の人口減少と地方消滅の危機に対し、国は昨年「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、各自治体にも人口ビジョンと総合戦略を作るよう指示しました。

「市川市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の内容は、

- ① 本市の人口動態は、20代前後の若い世代では転入超過だが、30代の子育て世代では大幅な転出超過で、このままでは人口減と少子高齢化が避けられない。
- ② 子育て世代の流出を食い止めることを最優先の方針とする。
- ③ そこで、結婚、出産、子育ての支援と、住み続けたいくなるような美しい景観のまちづくりを戦略とする。というものでした。

一方、市が行った転出者に対するアンケートによると、子育て世代の転出の最大の理由は、子育てに必要な広さの家を求めて船橋や習志野など都心からより遠くへ移るというものでした。

皆さん、市川市の戦略は少しずれていると思いませんか？必要なのは、市内で子育てに十分な家を手頃な価格で手に入れられるようにする住宅政策じゃないでしょうか。

市内には空き家がどんどん増えています。郊外の空き家を割安な中古住宅として豊富に市場に出回るようにし、その情報が手軽に得られるようにすれば、市内で容易に手頃な価格の家が手に入るようになるのではないのでしょうか？

皆さんはどう考えますか？ご意見をお聞かせください。

「石原よしのり市政報告会」開催

2月議会の報告と政務活動費疑惑のその後について

日時： 4月3日（日）14:00～16:00

場所： I-link ルーム

（JR市川駅南口 タワーズイースト3階、行政サービスセンター内）

議員と身近に話せます。お気軽にお出かけ下さい。（入場無料です）

● 市川市の平成 28 年度予算

一般会計 1408 億円、特別会計等も加えた総額予算は、2387 億円と過去最大となりました。歳出面で、市役所新庁舎建設費、大雨浸水対策のポンプ場建設、下水道工事加速などで大幅な投資増があったことが大きな要因ですが、保育園の新設・定員増などの子育て支援や学童保育の拡充、そして障害者支援費も大きく増やすなど市民生活にも配慮しました。歳入面では、市税収入 7 億円増、地方消費税交付金 15 億円増などがあったため、28 年度予算では、財政調整基金つまり貯金の取り崩しを予算に計上しなくても収支を合わせることができました。（これまで市川市は常に貯金の取り崩しを予算計上していました。）

● 百条委員会の進捗

市民アンケートを何度も実施したとしてその印刷代と返信用切手代の名目で 3 年間に 400 万円もの政務活動費の支給を受けていた小泉文人議員と鈴木啓一前議員に対する特別調査委員会（百条委員会）は、現在も活動を続けています。

小泉議員は追加の資料提供は拒否、鈴木前議員に至っては証人喚問にすら応じていません。本当にアンケートを実施したのかどうか疑惑は一層深まるばかりです。市川市議会の信頼を回復するために、できるだけ早い究明をめざします。

トピックス

市川にパスポート窓口開設

6 月 1 日から、いよいよ市川市内でパスポートの申請、受取ができるようになります。場所は、市川駅行政サービスセンター内（JR 市川駅南口、タワーズイースト 3 階）今までのように、松戸や千葉に行かなくても済みます。

石原よしのリプロフィール

- 1960 年 5 月 31 日 生まれ
- 1983 年 東京大学卒業（農学部 森林・林業政策専攻）
- 1983 年 王子製紙入社。以後 27 年間、工場現場をはじめ事業管理、経営企画、海外事業を担当
- 1990 年 米国 WAKE FOREST 大学大学院卒業（経営学修士 MBA）
- 2011 年 市川市議会議員に当選、現在 2 期目

連絡先

〒272-0826 市川市真間 4-11-C202

TEL : 047-710-0958

FAX : 047-710-0959

メールアドレス : yoshinori.ishihara@gmail.com

ホームページアドレス : <http://ishihara-yoshinori.jp>

